

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日 時：2025年9月10日（水）11時50分～12時50分

場 所：秋季年会会場（海峡メッセ下関）とオンラインのハイブリッド方式

出席代議員：相川 祐理、赤堀 卓也、浅井 歩、井岡 邦仁、石垣 美歩、市來 淨與、稻見 華恵、犬塚 修一郎、井上 剛志、井上 芳幸、江草 芙実、大須賀 健、大向 一行、岡本 桜子、樺山 和己、河野 孝太郎、小林 千晶、諏訪 雄大、高橋 慶太郎、谷口 大輔、土居 守、當真 賢二、富田 賢吾、富永 望、長尾 透、野村 英子、林 左絵子、深川 美里、藤井 通子、藤井 友香、細川 隆史、堀田 英之、松本 浩典、望月 優子、百瀬 宗武、山岡 均、山崎 典子、山崎 了、横山 央明

欠席代議員：石川 遼子、川端 弘治、井上 昭雄、大朝 由美子、田中 雅臣、富田 晃彦、吉田 直紀

委任状：6通

出席理事：太田耕司会長、永井洋庶務理事、勝川行雄庶務理事、美濃和陽典会計理事、

鈴木竜二会計理事（深川美里副会長、長尾透副会長は代議員を兼任している。）

出席監事：熊谷紫麻美、中村文隆

また、一丸事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、代議員総数46名のうち、開始時点での出席代議員が39名、委任状6通で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長： 太田 耕司

署名人： 太田 耕司

また、オンライン会議システムによる出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回代議員総会（2025年6月17日）の議事録が確認された。

II. 議題

公益社団法人日本天文学会の代議員総会に提出した議題は会長が作成し、各担当理事に詳細の説明を指示した

II-1. 若手国際交流研究会（仮称：日光シンポジオン）（資料3、太田）

若手研究者と海外の一流研究者の交流を深めるための研究会（場所は日光）の開催を毎年学会で募集して選考する。開催にあたっては、会場の無料提供と開催費用（主に旅費）の寄付を河合誠之氏が10年位を目途に行う、という提案があり、その経緯と対応案について説明がなされた。学会としては、半年から1年後をめどに4条委員会を設置し、募集と選考を行うこととし、開催に係る費用は河合氏の寄付をうけて、研究会主催者に助成するという形をとりたい、また、実施要項や内規を定めて4条委員会につなぐために、準備委員会をタスクフォースとして設置したいという説明がなされた。旅費補助のあり方、基金とするのか、外部資金との併用、

滞在型のワークショップを学会が助成するメリット、応募が見込めるか、開催形式など質問と意見が出された。この事業を進めること、タスクフォースを設置すること、またタスクフォースの構成員が提案通り賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 理事会(2025年9月5日)の報告 (資料無、永井)

2025年9月5日に開催された理事会の報告がなされた。PASJの分配金と査読者提案機能について質問があり、査読者提案機能についてはあくまでも候補の提案であり、編集委員の見識で査読者を決めることが説明された。

III-2. 五藤光学・西村製作所100周年への感謝状贈呈 (資料4、太田)

両社が望遠鏡を製作して一般向けに販売を始めて100周年になることを記念し、天文学の発展や教育普及への長年の貢献に対して感謝状を贈呈する予定であることが報告された。西村製作所は公開天文台の望遠鏡を手がけていること、五藤光学はプラネタリウムも製作していることに感謝状で触れた方がよいとの意見があり、実務理事で検討する旨が回答された。

III-3. 事務所職員就業規則および規程類の制/改定 (資料5、永井)

育児・介護休業法の改正などに伴う就業規則の改定と、事務所職員の行動規範の制定について説明があった。事務職員行動規範に、会員向け行動規範にならっていじめやハラスメント排除の文言を含めた方がよいとの意見が出された。また、就業規則におけるハラスメント対応を庶務理事とするのではなく、会員向けに検討中の相談フローに則って対応するのが良いとの意見があった。就業規則についてはいったん原案で制定し、今後、修正を検討し対応することを確認した。

III-4. ハラスメント相談窓口の検討状況 (資料6、太田)

行動規範違反に対する相談フローの検討状況が紹介された。引き続き検討が必要なため、質問や意見を隨時受け付けることを確認した。

III-5. CoC 天文月報掲載 (資料7、望月)

行動規範制定の月報記事が掲載予定であることが報告された。

III-6. 日本学術会議IAU報告(資料8、奥村)

日本学術会議法案の状況、IAU分科会より会員入会申請と、PhD prize応募を奨励すること、天文学・宇宙物理学分科会より「未来の学術振興構想」改訂のために将来計画の提案を受付けていることが報告された。

[資料リスト]

資料1 代議員総会出席欠席表

資料2 公益社団法人日本天文学会代議員総会議事録 (案)

資料3 若手国際交流研究会（仮称：日光シンポジウム）の準備TFについて

資料4 五藤光学・西村製作所100周年への感謝状贈呈

資料5 事務所職員就業規則・規程類の制改定

資料6 ハラスメント相談窓口の検討状況

資料 7 CoC 天文月報掲載

資料 8 26 期日本学術会議・分科会報告

2025 年 9 月 10 日

議長・署名人： 太田 耕司

印